

岐阜県における
土地価格と不動産取引の動向
に関するアンケート調査結果
～岐阜県不動産市況ＤＩ調査～
(令和４年１０月１日基準点)

令和５年１月

協 賛 岐 阜 県

公益社団法人 岐阜県宅地建物取引業協会
公益社団法人 岐阜県不動産鑑定士協会

目 次

調査結果について	1
1. 調査実施の概要	3
2. 回答者の属性	3
(1) 主な事業地域	3
(2) 主な事業内容	3
3. 回答内容	4
(1) 地価動向の集計	4
① 岐阜県全域の集計	4
② 地域毎の集計	5
(2) 不動産取引(取引件数)の動向	8
① 岐阜県全域の集計	8
② 地域毎の集計	11
(3) 不動産取引(賃料・空室率)の動向	14
① 岐阜県全域の集計	14
② 地域毎の集計	17
各地域ごとのコメント	19
全県実感DI推移表	20

岐阜県における

土地価格と不動産取引の動向 に関するアンケート調査結果

令和4年10月1日を起点とし、過去6ヶ月(R4.4.1～R4.10.1)と、今後6ヶ月(R4.10.1～R5.4.1)の、岐阜県の土地価格と不動産取引の動向について、公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員へアンケート調査を行った結果についてお知らせします。

I. 土地価格の動向について

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△10.4 ^〆 イト	△4.4 ^〆 イト	△3.5 ^〆 イト	△2.4 ^〆 イト

今回の県全体の地価動向D Iは、△3.5^〆 イトで、前回（令和4年4月1日）の△4.4^〆 イトまた、前回の予測値△5.3^〆 イトより改善がみられる。さらに、半年後の予測値は△2.4^〆 イトと更なる改善が予想されている。
地域別にみると岐阜、東濃、中濃地区は好転傾向がみてとれる。一方、西濃地区は、コロナからの回復が鈍化している。飛騨地域は、観光客が戻りきっていないのか商業地の動向が期待値に達していない。
また、県全体を通して円安、インフレ、ウッドショック等による建築費の高騰が土地価格に影響を及ぼし始めている。

II. 不動産市場の動向（県全体）について

1. 取引件数について

(1) 土地

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△5.0 ^〆 イト	△4.9 ^〆 イト	△4.9 ^〆 イト	△3.4 ^〆 イト

土地の取引件数は、前回（令和4年4月1日）調査と同じ△4.9ポイントであった。半年後の予測値は△3.4ポイントと改善が予測されている。土地は、利便性の高い地域の需要は底堅さがみられるが、その反面、郊外住宅団地、過疎地域等での需要は極めて乏しい。

(2) 新築戸建

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
0.5ポイント	△7.2 ^〆 イト	△10.6 ^〆 イト	△9.7 ^〆 イト

新築住宅の取引件数は、前回（令和4年4月1日）調査△7.2ポイントから△10.6ポイントに悪化した。半年後の予測値は△9.7ポイントとわずかな改善が予測されている。ウッドショック等建築費高騰の影響か、新築戸建市場は低迷が続いている。

(3) 中古住宅

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
1.9ポイント	△3.2 ^〆 イト	△2.9 ^〆 イト	△1.5 ^〆 イト

中古住宅の取引件数は、前回（令和4年4月1日）調査△3.2ポイントから△2.9ポイントに改善した。半年後の予測値は△1.5ポイントとさらなる改善が予測されている。建築費の上昇により中古住宅が選好されるケースも目立ってきている。

(4) 新築マンション

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△12.8 ^〆 イト	△10.9 ^〆 イト	△21.1 ^〆 イト	△20.8 ^〆 イト

今回の県全体の新築マンション売買仲介件数D Iは、△21.1^〆 イトで、前回（令和4年4月1日）の△10.9^〆 イトまた、前回の予測値△12.1^〆 イトより悪化した。半年後の予測値は△20.8^〆 イトとなっている。新築、中古を問わずマンションは特に立地重視の傾向が強まっており、立地選定に失敗した物件は長期売れ残っている。

(5) 中古マンション

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△11.0 ^ポ イント	△8.9 ^ポ イント	△12.1 ^ポ イント	△10.7 ^ポ イント

今回の県全体の中古マンション売買仲介件数DIは、△12.1^ポイントで、前回（令和4年4月1日）の△8.9^ポイントまた、前回の予測値△6.5^ポイントより悪化した。半年後の予測値は△10.7^ポイントとなっている。また、駅近の中古物件では新築時より高い価格での取引もみられる。

2. 賃料、空室率について

(1) 賃料水準について

居住用物件の賃料

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△9.1 ^ポ イント	△7.0 ^ポ イント	△8.8 ^ポ イント	△8.5 ^ポ イント

事業用物件の賃料

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△18.8 ^ポ イント	△9.2 ^ポ イント	△13.7 ^ポ イント	△11.1 ^ポ イント

居住用物件の賃料水準は、前回調査では若干の改善が見られたものの、今回は再び悪化に転じ△8.8ポイント。半年後の予測値は△8.5^ポイントとなっている。一方、事業用物件は前回改善がみられたが今回△13.7ポイント、半年後の予測値は△11.1^ポイントとなっており、悪化傾向が続くと予測されている。居住用物件では、戸建貸家の需要が高い。事業用物件では、交通量の多い幹線道路沿いが人気である。

(2) 空室率について

居住用物件の空室率

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△9.2 ^ポ イント	2.2ポイント	△6.2 ^ポ イント	△4.7 ^ポ イント

事業用物件の空室率

R3. 10. 1	R4. 4. 1	R4. 10. 1	R5. 4. 1(予測)
△10.8 ^ポ イント	△3.3 ^ポ イント	△10.7 ^ポ イント	△4.4 ^ポ イント

空室率については、居住用物件が△6.2ポイント、事業用物件が△10.7ポイントと大きく下落した。なお、半年後の予測値は、いずれも改善すると予測されている。

【DI指数について】

DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、現況や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている指標です。

DIの算出方法は、各判断項目について5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して、次式により算出します。

$$DI = \{ (第1選択肢の回答数 \times 2 + 第2選択肢の回答数) - (第4選択肢の回答数 + 第5選択肢の回答数 \times 2) \} \div 2 \div 回答者数 \times 100$$

本調査では、上昇(増加)から下落(減少)までの判断を5段階で調査し、DIが0.0以上なら改善したとみる会員が多く、逆に0.0以下なら厳しい見方が多いことになる。

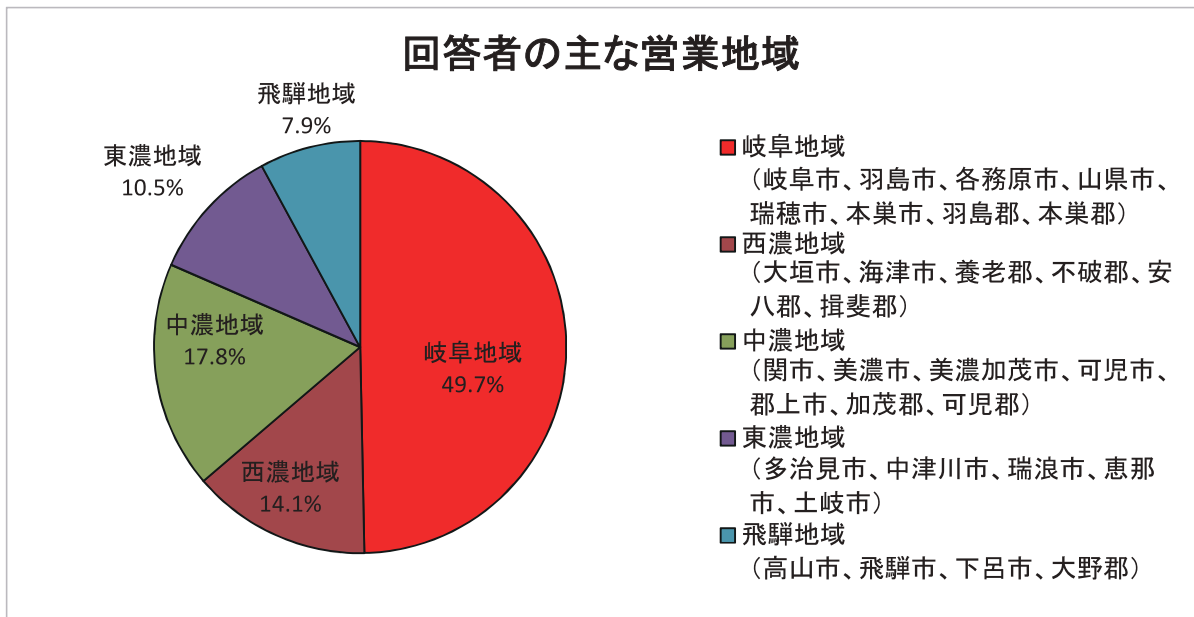
1. 調査実施の概要

- (1) 調査方法：郵送によるアンケート調査
 (2) 調査対象：公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員
 (3) 発送数：1,140 社
 (4) 回答数：455 社(回収率 39.9%)

2. 回答者の属性

(1) 主な事業地域

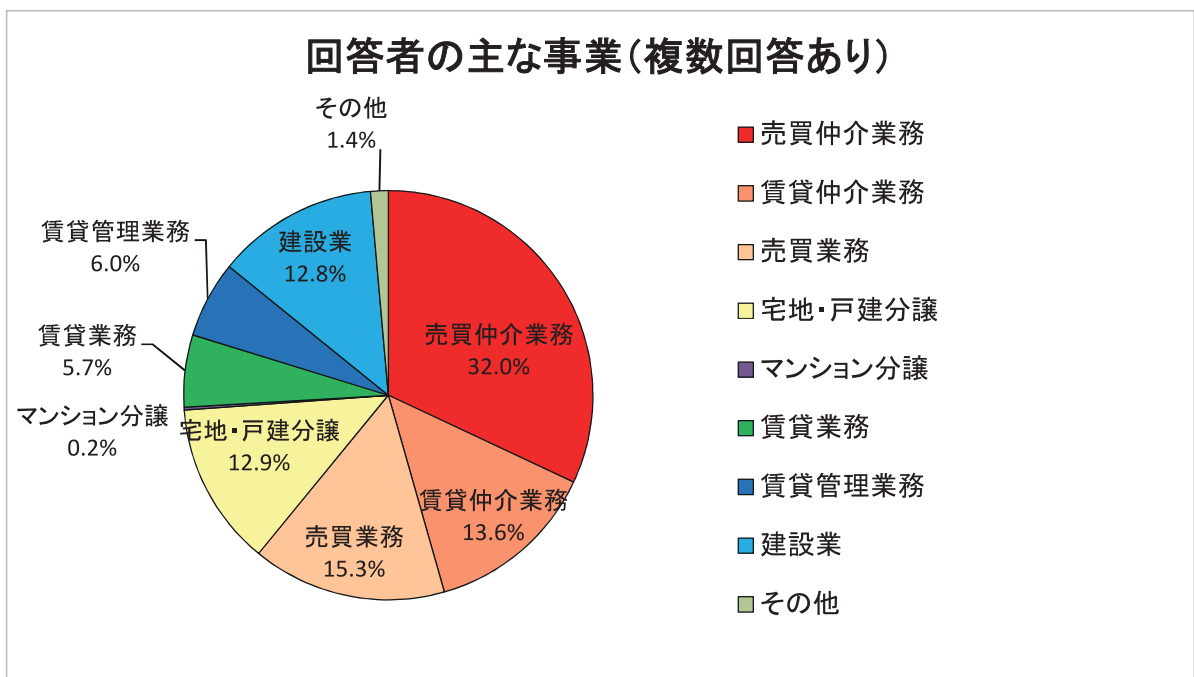
岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域	合計
226	64	81	48	36	455



(2) 主な事業内容

(複数回答あり)

売買 仲介業務	賃貸 仲介業務	売買業務	宅地・戸建 分譲	マンション 分譲	賃貸業務	賃貸管理 業務	建設業	その他	合計
275	117	132	111	2	49	52	110	12	860



3. 回答内容

(1)地価動向の集計

①岐阜県全域の集計

問2. 令和4年10月1日現在の地価の動向は、半年前(令和4年4月1日)と比較してどのように感じておられますか？

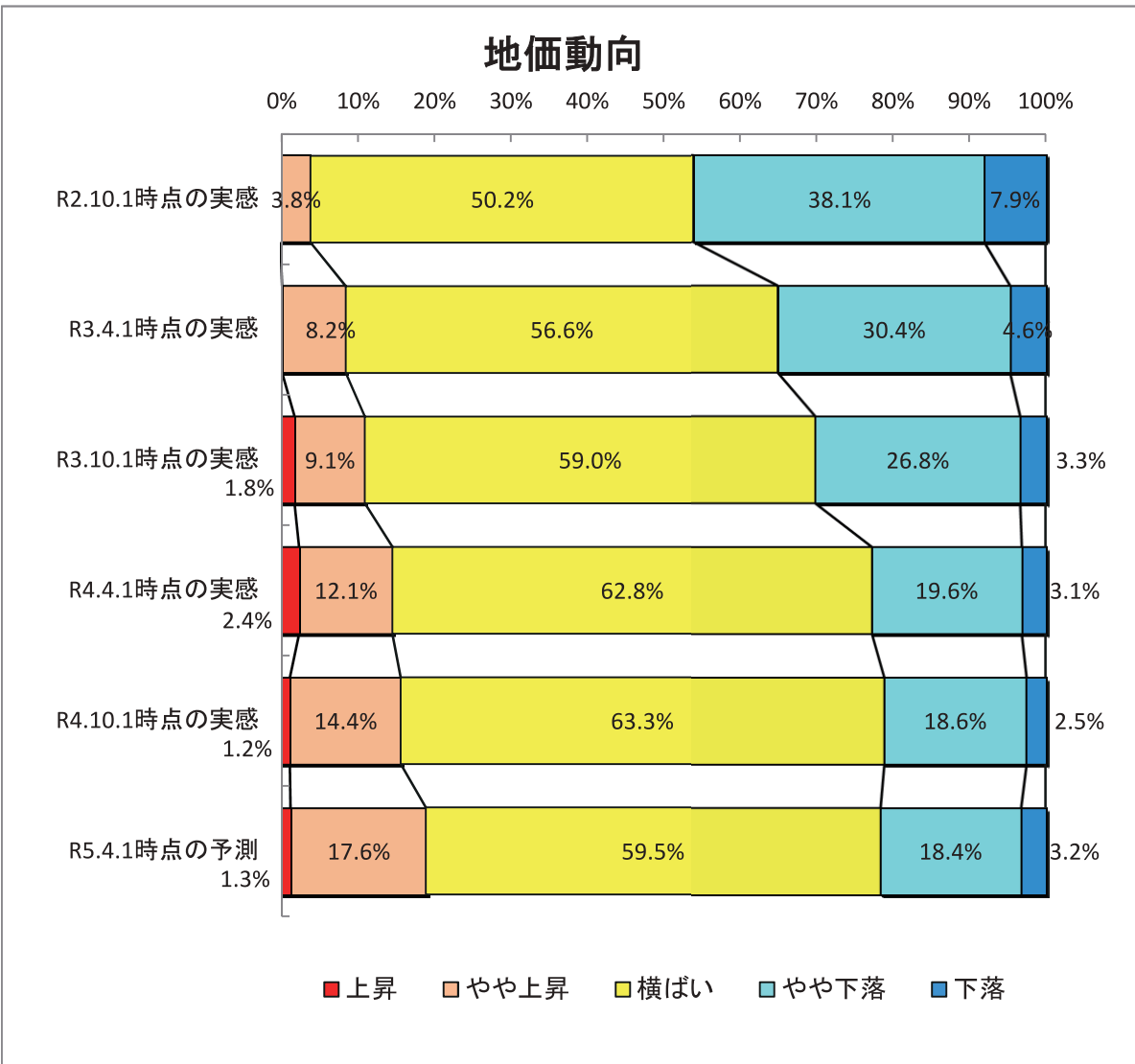
令和4年10月1日と令和4年4月1日の地価動向の比較

上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
10	125	548	161	22	866	-3.5
1.2%	14.4%	63.3%	18.6%	2.5%	100.0%	

問3. 半年後(令和5年4月1日)の地価の動向は、現在(令和4年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

令和4年10月1日と令和5年4月1日の地価動向の比較

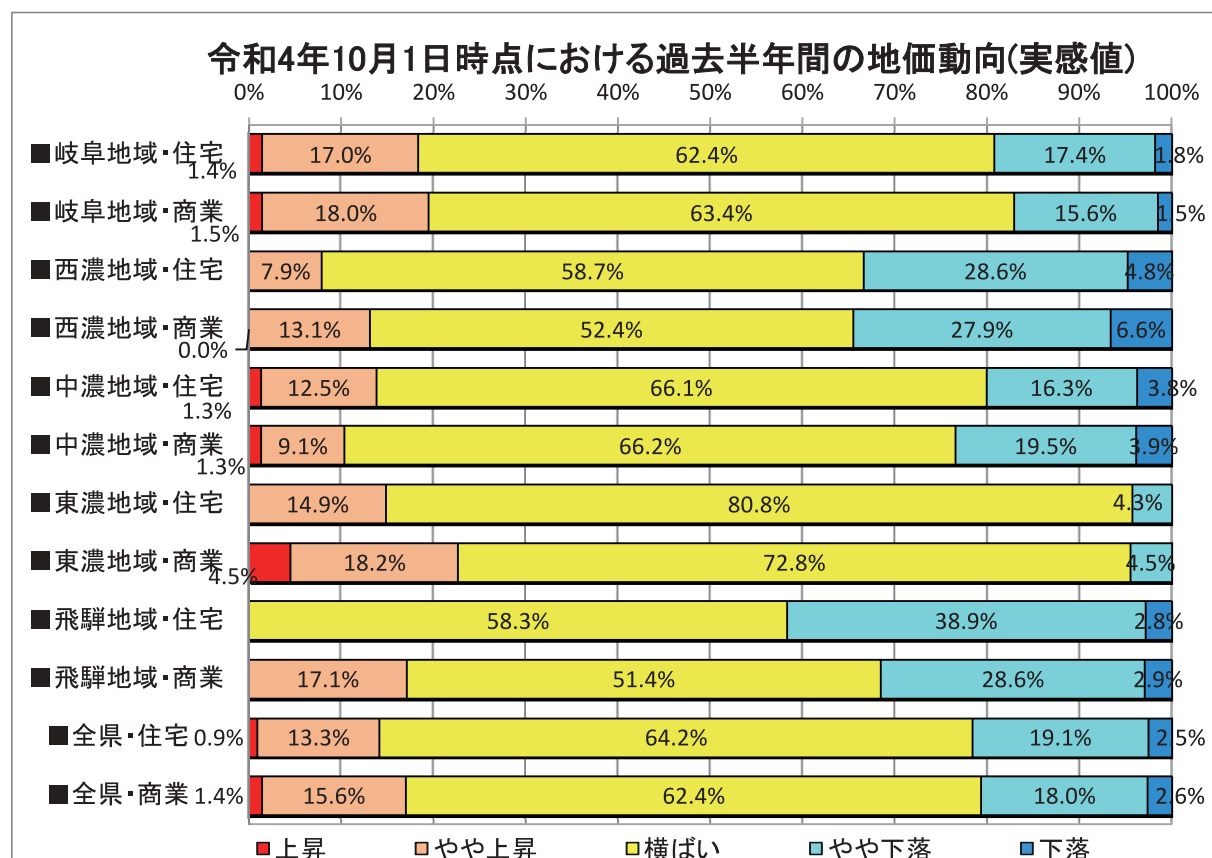
上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
11	152	514	159	28	864	-2.4
1.3%	17.6%	59.5%	18.4%	3.2%	100.0%	



②地域毎の集計

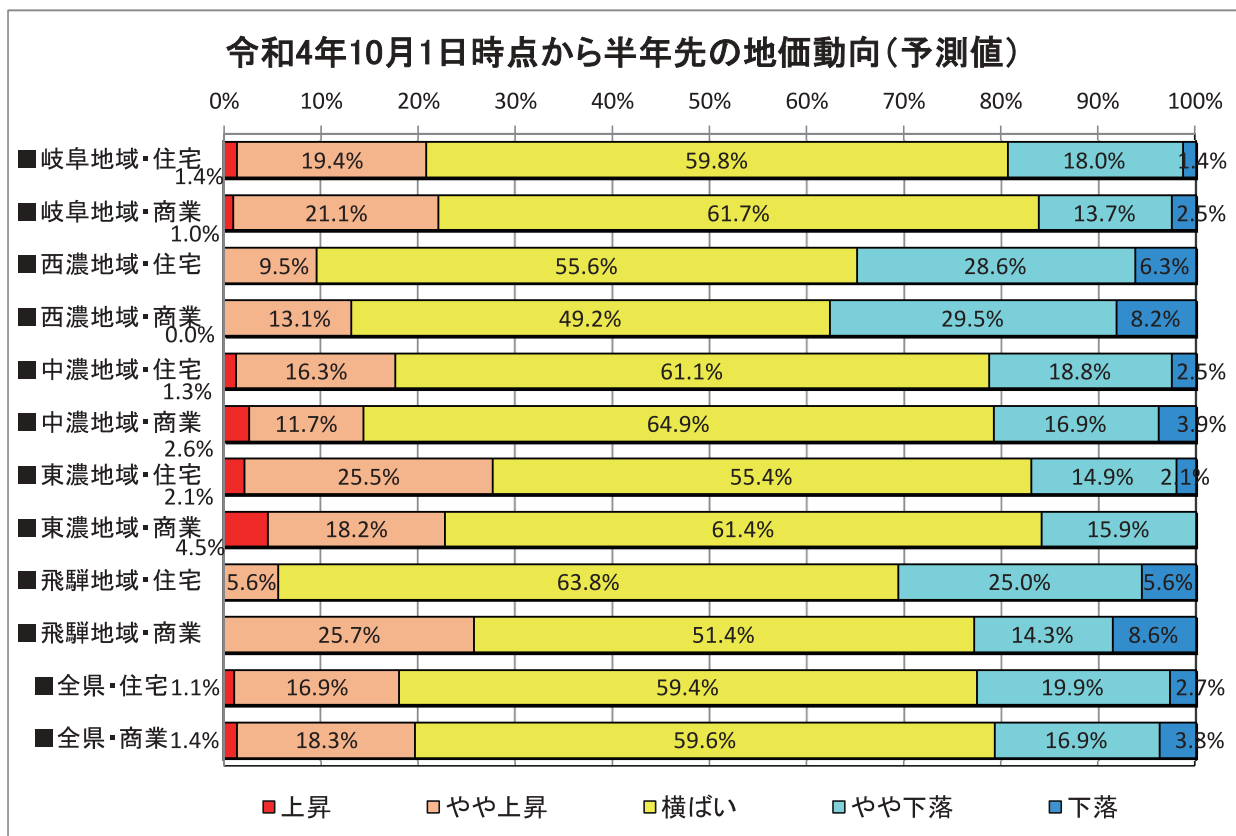
問2. 令和4年10月1日現在の地価の動向は、半年前(令和4年4月1日)と比較してどのように感じておられますか？

地価動向・地域毎(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の地価動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	3	37	136	38	4	218
DI指数	-0.7P	1.4%	17.0%	62.4%	17.4%	1.8%	100%
岐阜地域・商業地	回答数	3	37	130	32	3	205
DI指数	1.2P	1.5%	18.0%	63.4%	15.6%	1.5%	100%
西濃地域・住宅地	回答数	0	5	37	18	3	63
DI指数	-14.5P	0.0%	7.9%	58.7%	28.6%	4.8%	100%
西濃地域・商業地	回答数	0	8	32	17	4	61
DI指数	-15.1P	0.0%	13.1%	52.4%	27.9%	6.6%	100%
中濃地域・住宅地	回答数	1	10	53	13	3	80
DI指数	-4.4P	1.3%	12.5%	66.1%	16.3%	3.8%	100%
中濃地域・商業地	回答数	1	7	51	15	3	77
DI指数	-7.8P	1.3%	9.1%	66.2%	19.5%	3.9%	100%
東濃地域・住宅地	回答数	0	7	38	2	0	47
DI指数	5.3P	0.0%	14.9%	80.8%	4.3%	0.0%	100%
東濃地域・商業地	回答数	2	8	32	2	0	44
DI指数	11.4P	4.5%	18.2%	72.8%	4.5%	0.0%	100%
飛騨地域・住宅地	回答数	0	0	21	14	1	36
DI指数	-22.2P	0.0%	0.0%	58.3%	38.9%	2.8%	100%
飛騨地域・商業地	回答数	0	6	18	10	1	35
DI指数	-8.6P	0.0%	17.1%	51.4%	28.6%	2.9%	100%
全県・住宅地	回答数	4	59	285	85	11	444
DI指数	-4.5P	0.9%	13.3%	64.2%	19.1%	2.5%	100%
全県・商業地	回答数	6	66	263	76	11	422
DI指数	-2.4P	1.4%	15.6%	62.4%	18.0%	2.6%	100%

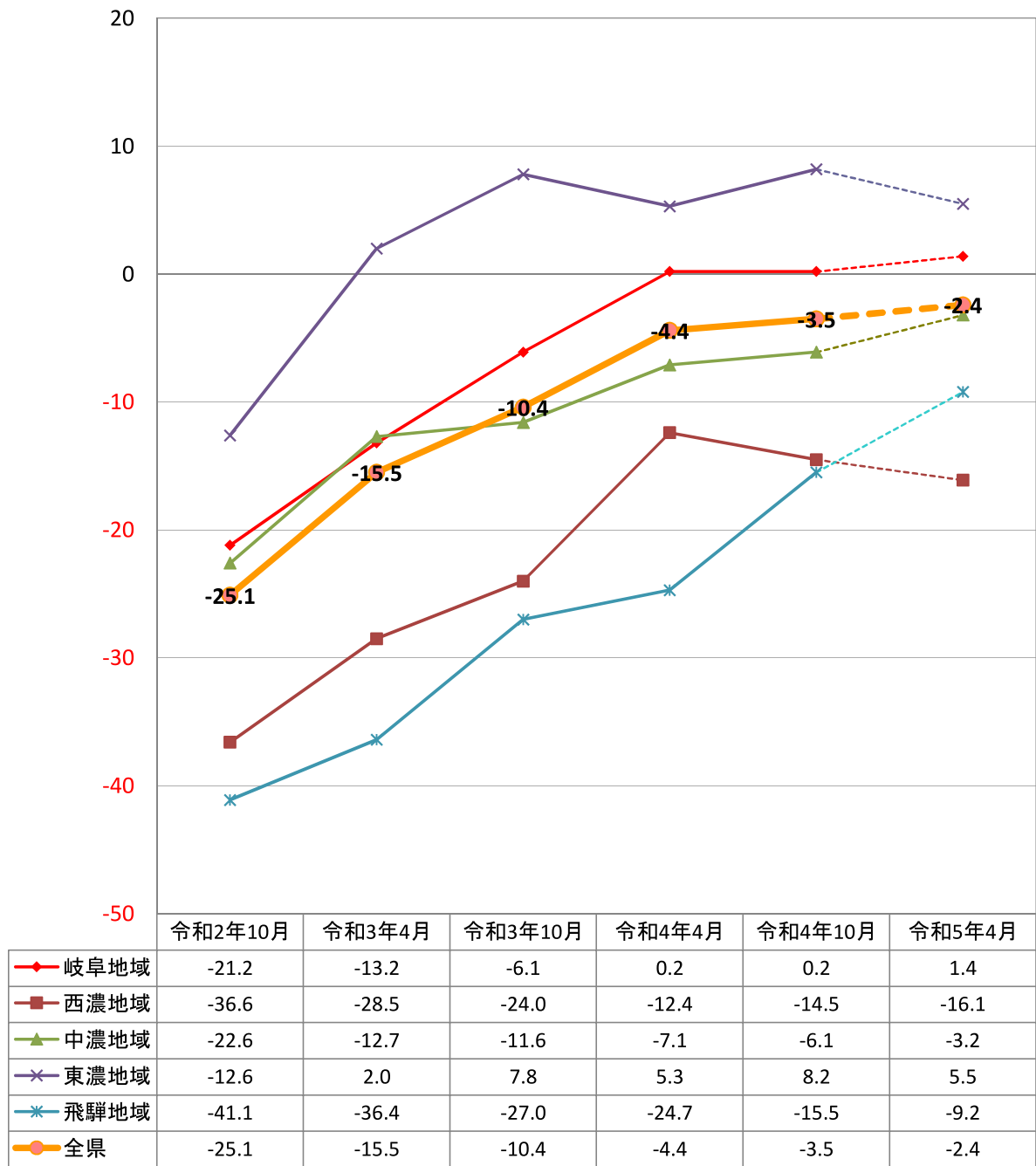


問3. 半年後(令和5年4月1日)の地価の動向は、現在(令和4年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

地価動向・地域毎(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の地価動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	3	42	130	39	3	217
DI指数	1.4P	1.4%	19.4%	59.8%	18.0%	1.4%	100%
岐阜地域・商業地	回答数	2	43	126	28	5	204
DI指数	0.7P	1.0%	21.1%	61.7%	13.7%	2.5%	100%
西濃地域・住宅地	回答数	0	6	35	18	4	63
DI指数	-16.1P	0.0%	9.5%	55.6%	28.6%	6.3%	100%
西濃地域・商業地	回答数	0	8	30	18	5	61
DI指数	-15.9P	0.0%	13.1%	49.2%	29.5%	8.2%	100%
中濃地域・住宅地	回答数	1	13	49	15	2	80
DI指数	-3.2P	1.3%	16.3%	61.1%	18.8%	2.5%	100%
中濃地域・商業地	回答数	2	9	50	13	3	77
DI指数	-2.5P	2.6%	11.7%	64.9%	16.9%	3.9%	100%
東濃地域・住宅地	回答数	1	12	26	7	1	47
DI指数	5.5P	2.1%	25.5%	55.4%	14.9%	2.1%	100%
東濃地域・商業地	回答数	2	8	27	7	0	44
DI指数	5.3P	4.5%	18.2%	61.4%	15.9%	0.0%	100%
飛騨地域・住宅地	回答数	0	2	23	9	2	36
DI指数	-9.2P	0.0%	5.6%	63.8%	25.0%	5.6%	100%
飛騨地域・商業地	回答数	0	9	18	5	3	35
DI指数	-15.3P	0.0%	25.7%	51.4%	14.3%	8.6%	100%
全県・住宅地	回答数	5	75	263	88	12	443
DI指数	-2.4P	1.1%	16.9%	59.4%	19.9%	2.7%	100%
全県・商業地	回答数	6	77	251	71	16	421
DI指数	-3.0P	1.4%	18.3%	59.6%	16.9%	3.8%	100%



地価動向DI



※令和5年4月は令和4年10月時点における予測値を示す(以下、同様)。

(2)不動産取引(取引件数)の動向

①岐阜県全域の集計

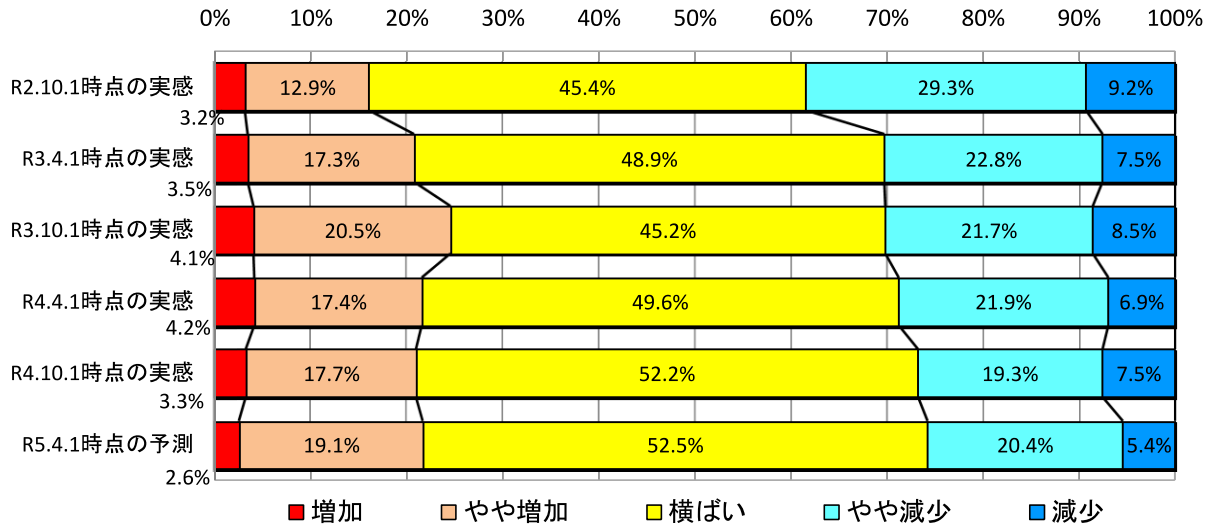
問4. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、令和4年10月1日現在の半年間の取引件数は、半年前(令和4年4月1日)と比較してどうですか？

取引動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の取引動向(実感値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	13	69	203	75	29		389
DI指数	-4.9P	3.3%	17.7%	52.2%	19.3%	7.5%		100%
新築戸建住宅	回答数	6	30	80	46	17		179
DI指数	-10.6P	3.4%	16.8%	44.6%	25.7%	9.5%		100%
中古戸建住宅	回答数	5	65	125	44	23		262
DI指数	-2.9P	1.9%	24.8%	47.7%	16.8%	8.8%		100%
新築マンション	回答数	2	5	46	16	14		83
DI指数	-21.1P	2.4%	6.0%	55.4%	19.3%	16.9%		100%
中古マンション	回答数	0	15	73	20	12		120
DI指数	-12.1P	0.0%	12.5%	60.8%	16.7%	10.0%		100%

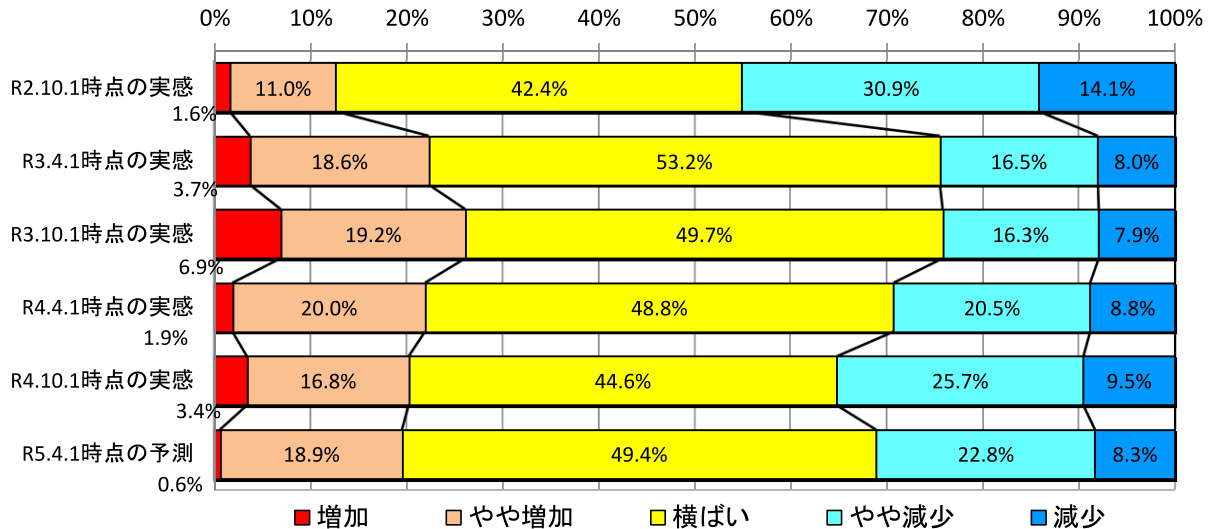
問5. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、半年後(令和5年4月1日)の取引件数は、現在(令和4年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

取引動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の取引動向(予測値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	10	75	206	80	21		392
DI指数	-3.4P	2.6%	19.1%	52.5%	20.4%	5.4%		100%
新築戸建住宅	回答数	1	34	89	41	15		180
DI指数	-9.7P	0.6%	18.9%	49.4%	22.8%	8.3%		100%
中古戸建住宅	回答数	5	66	126	52	16		265
DI指数	-1.5P	1.9%	24.9%	47.6%	19.6%	6.0%		100%
新築マンション	回答数	0	7	48	16	13		84
DI指数	-20.8P	0.0%	8.3%	57.2%	19.0%	15.5%		100%
中古マンション	回答数	2	16	71	20	13		122
DI指数	-10.7P	1.6%	13.1%	58.2%	16.4%	10.7%		100%

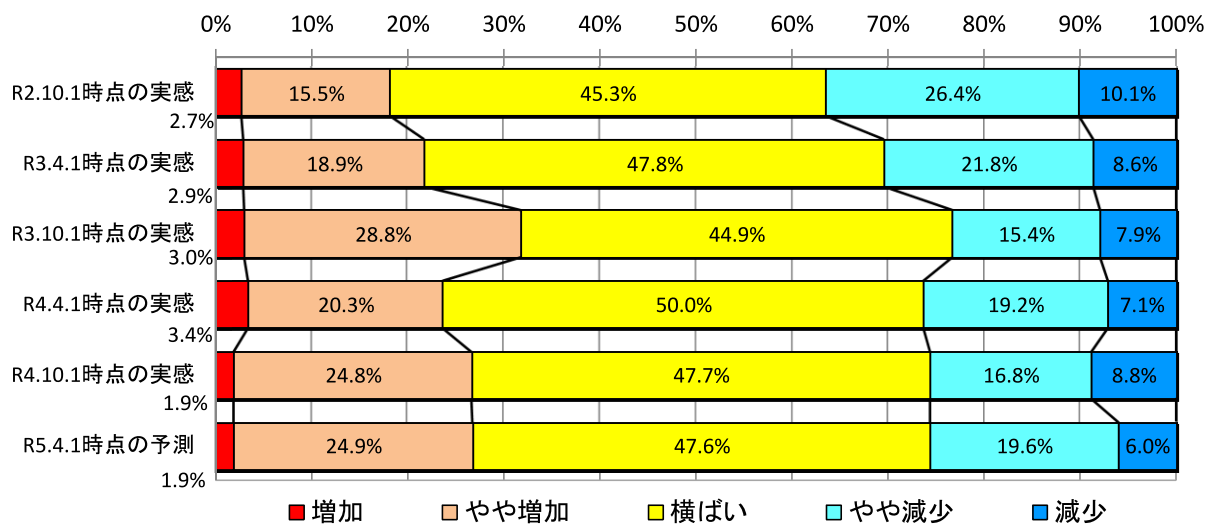
土地



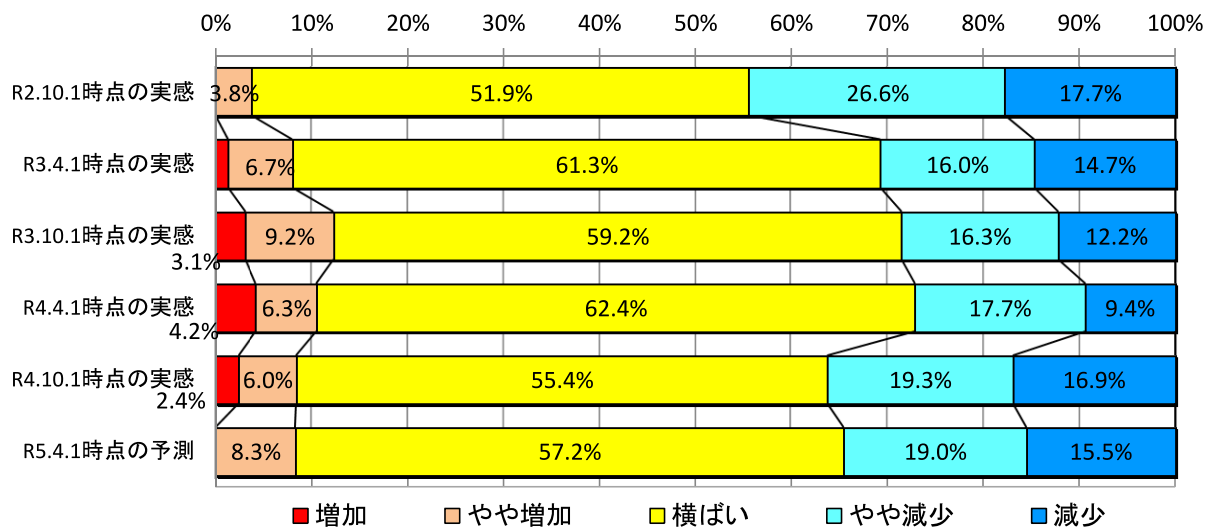
新築戸建住宅



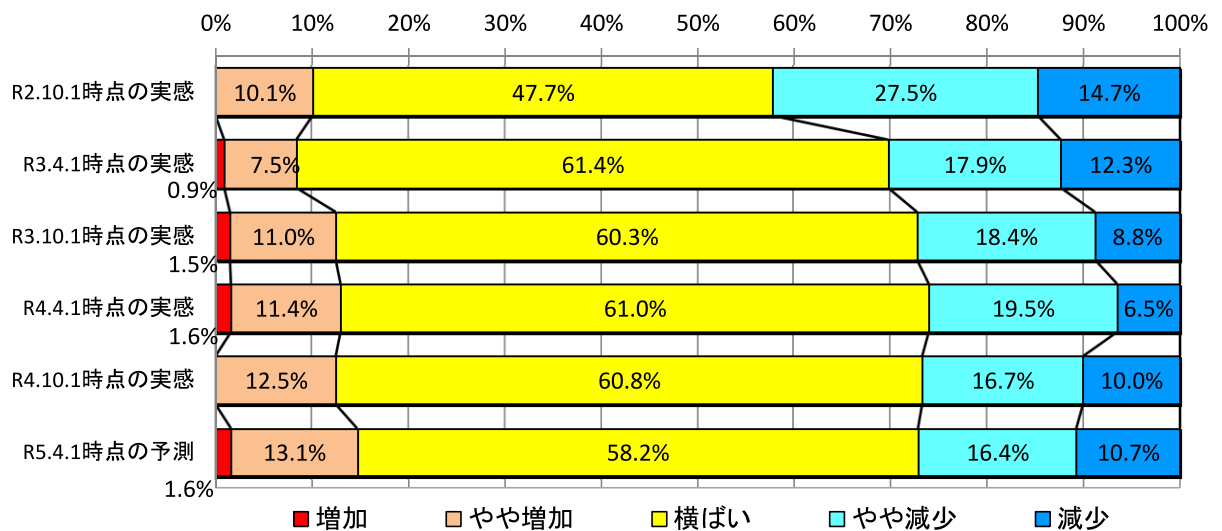
中古戸建住宅



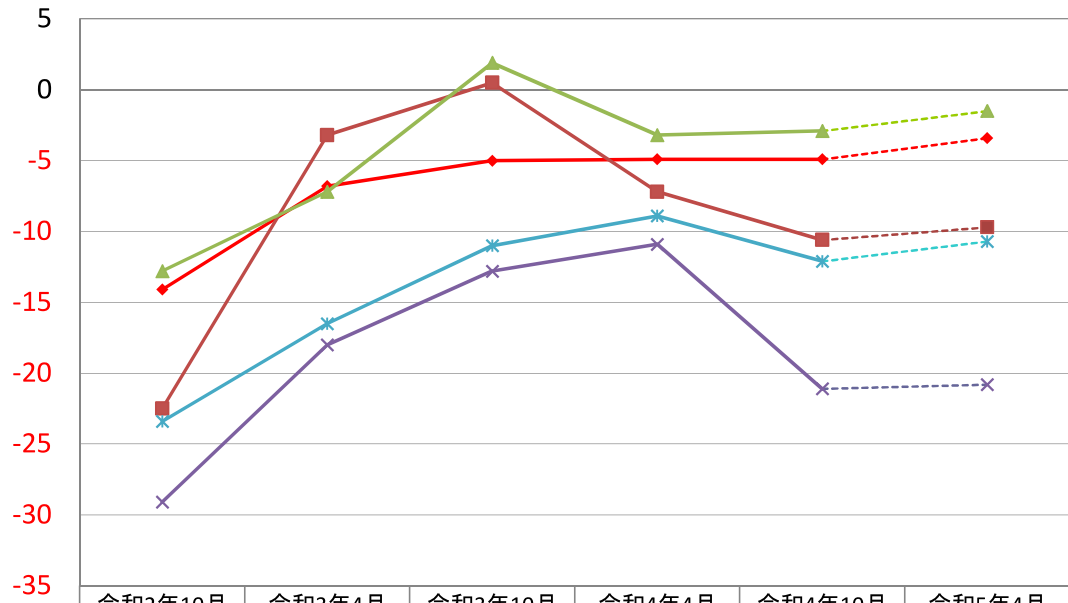
新築マンション



中古マンション



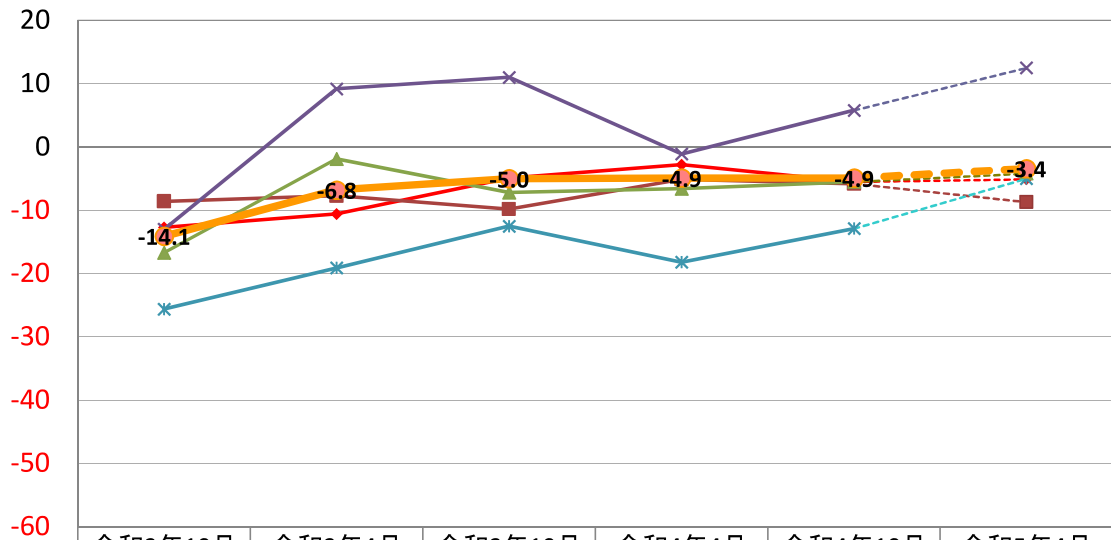
岐阜県不動産DI



	令和2年10月	令和3年4月	令和3年10月	令和4年4月	令和4年10月	令和5年4月
土地	-14.1	-6.8	-5.0	-4.9	-4.9	-3.4
新築戸建住宅	-22.5	-3.2	0.5	-7.2	-10.6	-9.7
中古戸建住宅	-12.8	-7.2	1.9	-3.2	-2.9	-1.5
新築マンション	-29.1	-18.0	-12.8	-10.9	-21.1	-20.8
中古マンション	-23.4	-16.5	-11.0	-8.9	-12.1	-10.7

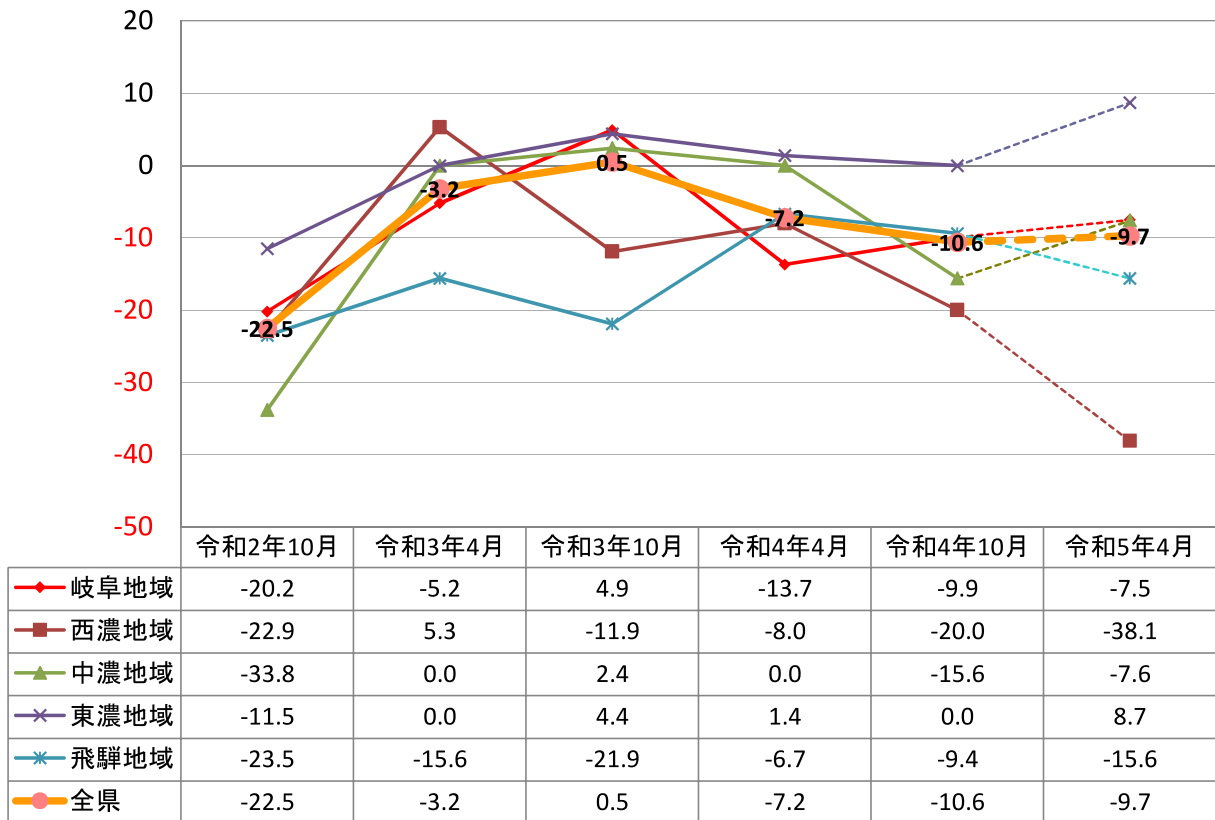
②地域毎の集計

土地DI

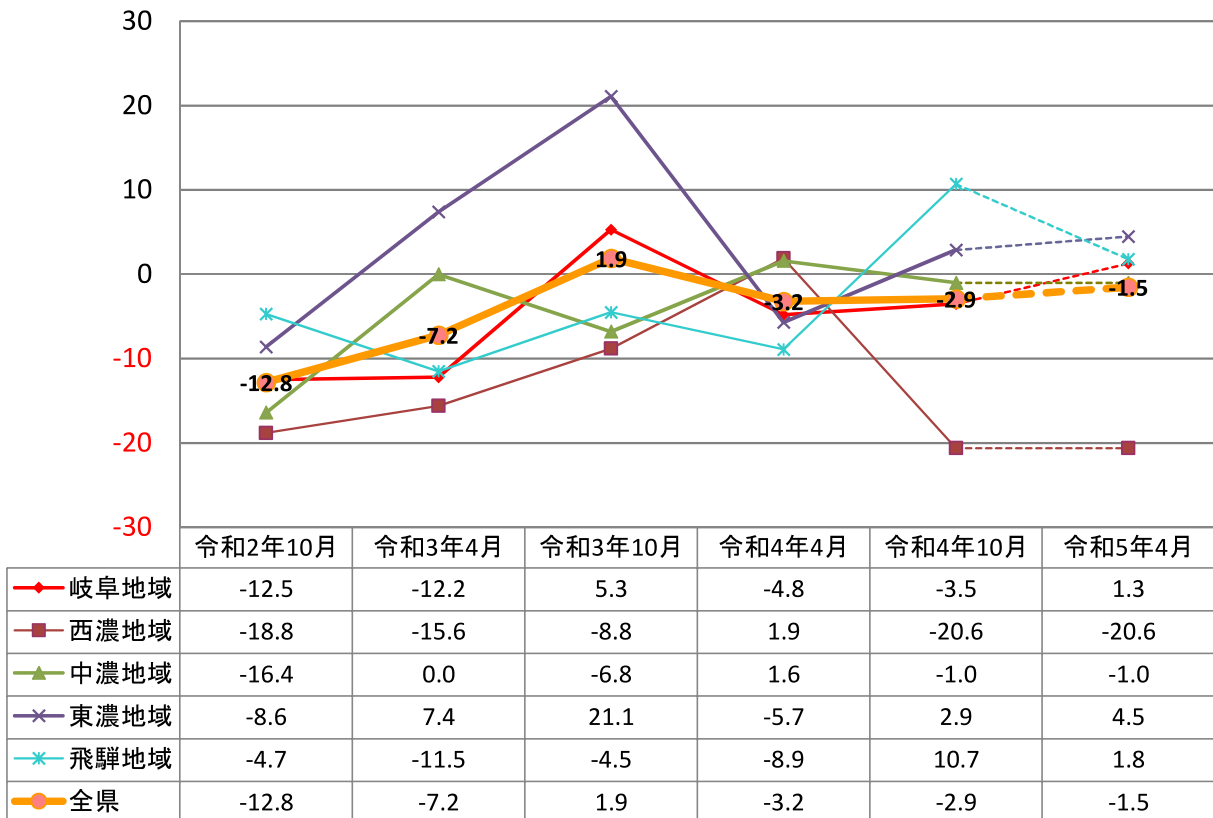


	令和2年10月	令和3年4月	令和3年10月	令和4年4月	令和4年10月	令和5年4月
岐阜地域	-12.7	-10.6	-4.9	-2.8	-5.5	-5.1
西濃地域	-8.6	-7.7	-9.8	-5.1	-5.8	-8.7
中濃地域	-16.7	-1.9	-7.2	-6.6	-5.5	-4.2
東濃地域	-13.0	9.2	11.0	-1.1	5.8	12.5
飛騨地域	-25.6	-19.1	-12.5	-18.2	-12.9	-5.0
全県	-14.1	-6.8	-5.0	-4.9	-4.9	-3.4

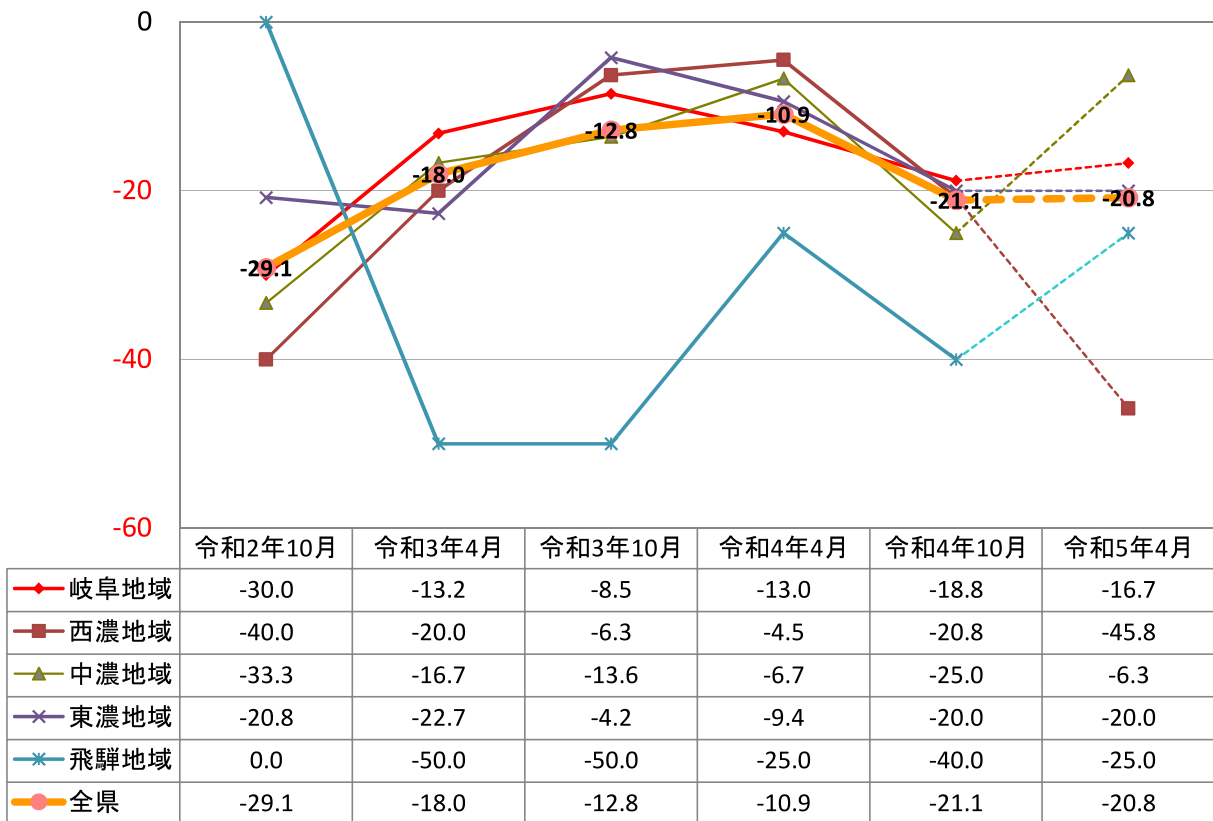
新築戸建住宅DI



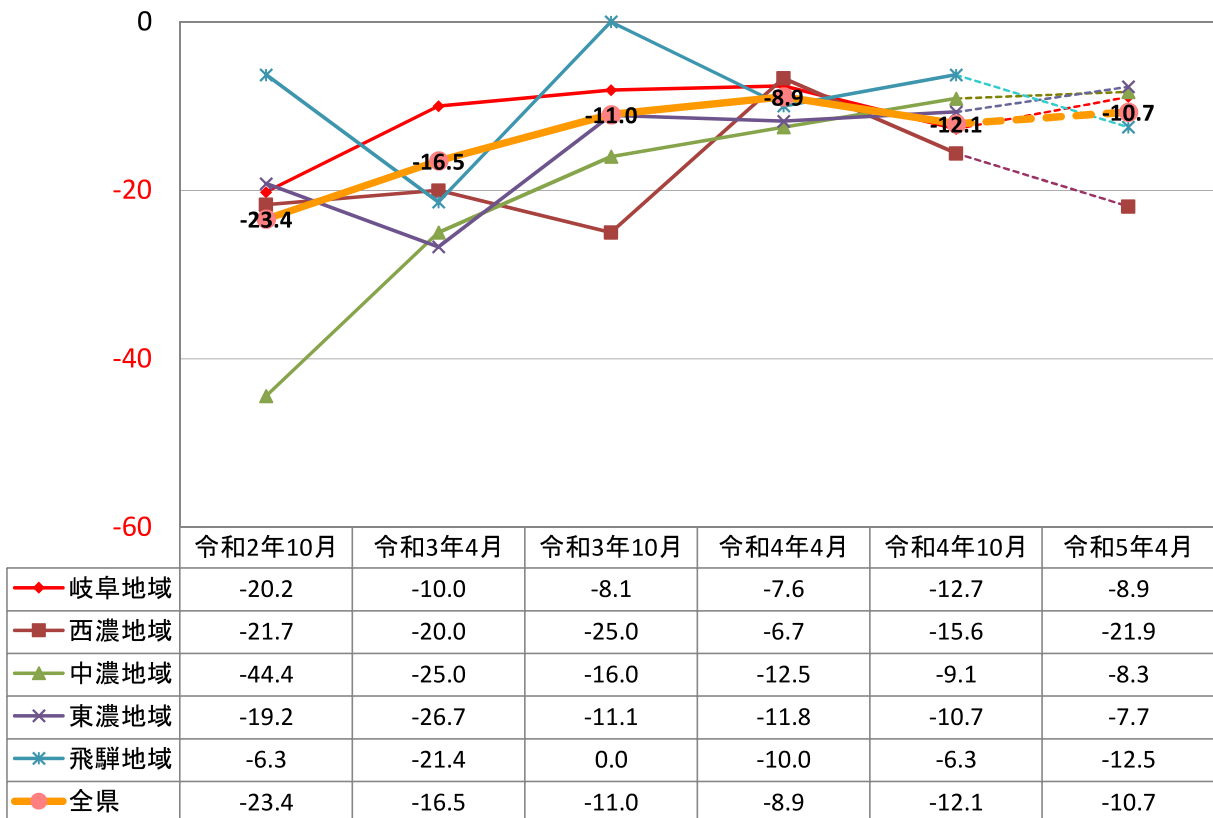
中古戸建住宅DI



新築マンションDI



中古マンションDI



(3)不動産取引(賃料・空室率)の動向

①岐阜県全域の集計

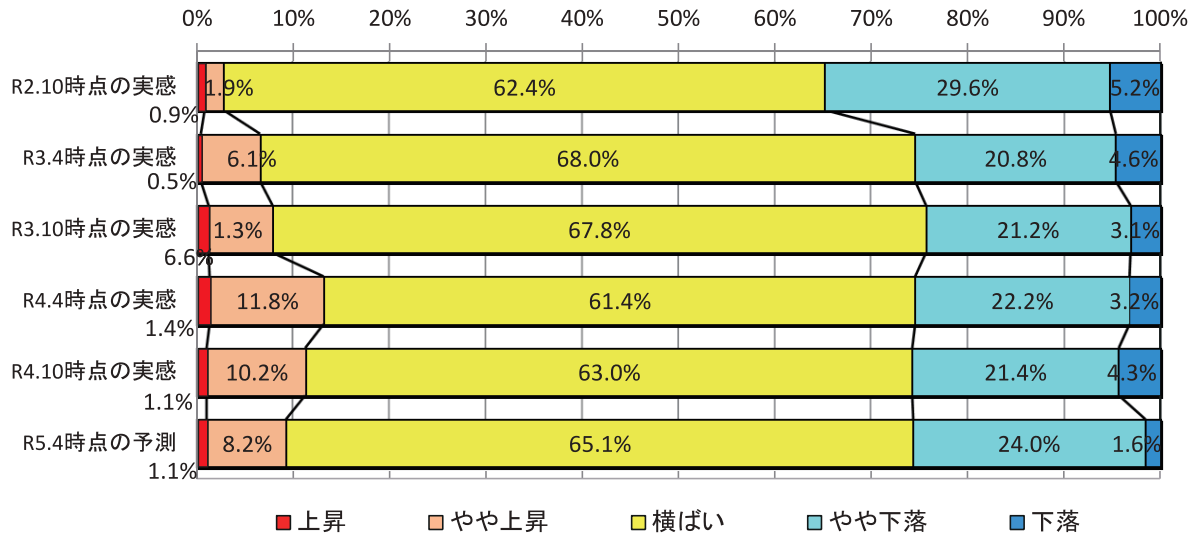
問6. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、令和4年10月1日現在の賃料・空室率は、半年前(令和4年4月1日)と比較してどうですか？

賃料動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の賃料動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある		合計
居住用物件の賃料	回答数	2	19	118	40	8		187
DI指数	-8.8P	1.1%	10.2%	63.0%	21.4%	4.3%		100%
事業用物件の賃料	回答数	0	8	117	44	6		175
DI指数	-13.7P	0.0%	4.6%	66.9%	25.1%	3.4%		100%
空室率動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の空室率動向(実感値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある		合計
居住用物件の空室率	回答数	4	23	96	42	5		170
DI指数	-6.2P	2.4%	13.5%	56.5%	24.7%	2.9%		100%
事業用物件の空室率	回答数	1	18	92	42	6		159
DI指数	-10.7P	0.6%	11.3%	57.9%	26.4%	3.8%		100%

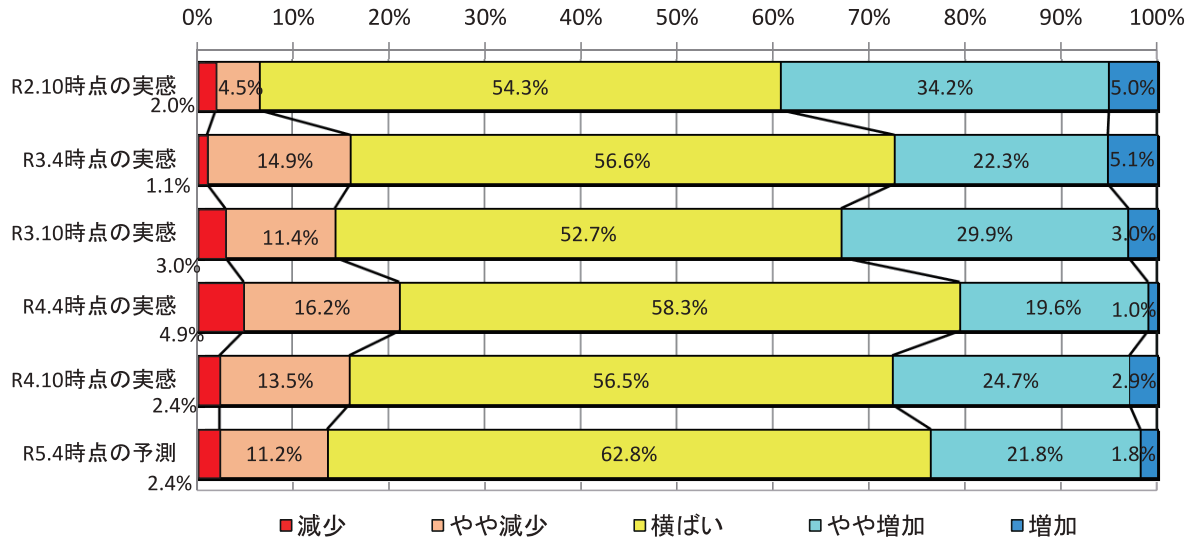
問7. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、半年後(令和5年4月1日)の賃料・空室率は、現在(令和4年10月1日)と比較してどうなると予想されますか？

賃料動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の賃料動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある		合計
居住用物件の賃料	回答数	2	15	119	44	3		183
DI指数	-8.5P	1.1%	8.2%	65.1%	24.0%	1.6%		100%
事業用物件の賃料	回答数	1	13	112	46	4		176
DI指数	-11.1P	0.6%	7.4%	63.6%	26.1%	2.3%		100%
空室率動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の空室率動向(予測値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある		合計
居住用物件の空室率	回答数	4	19	107	37	3		170
DI指数	-4.7P	2.4%	11.2%	62.8%	21.8%	1.8%		100%
事業用物件の空室率	回答数	3	20	104	26	7		160
DI指数	-4.4P	1.9%	12.5%	64.9%	16.3%	4.4%		100%

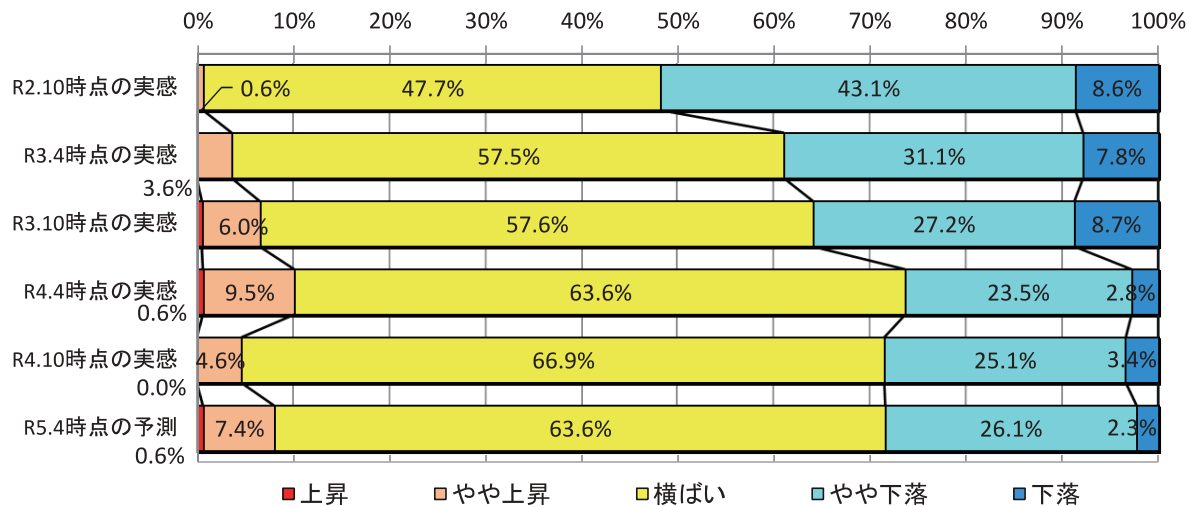
居住用物件の賃料



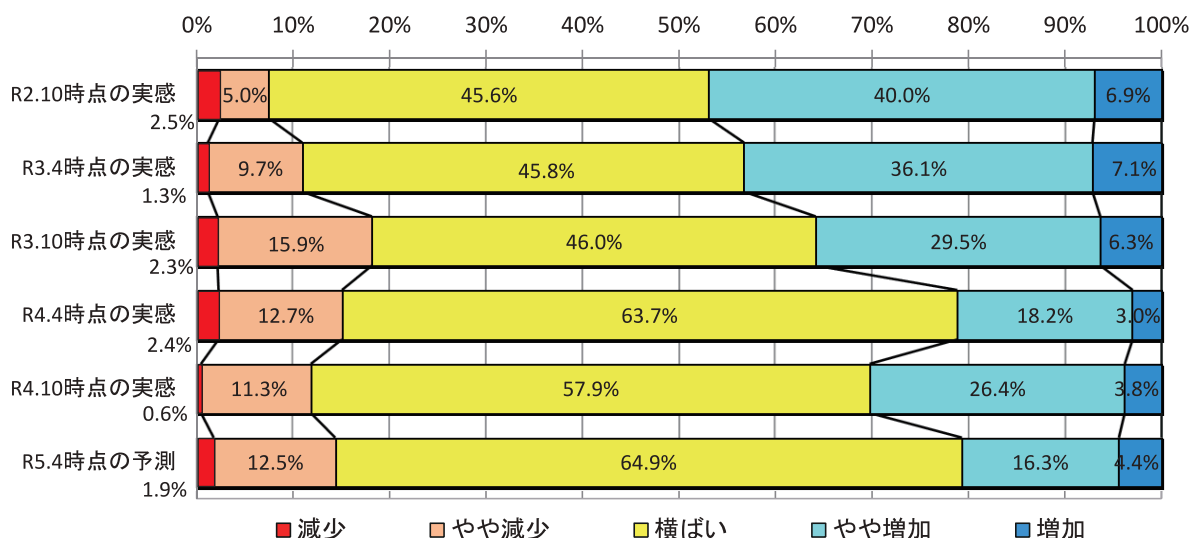
居住用物件の空室率



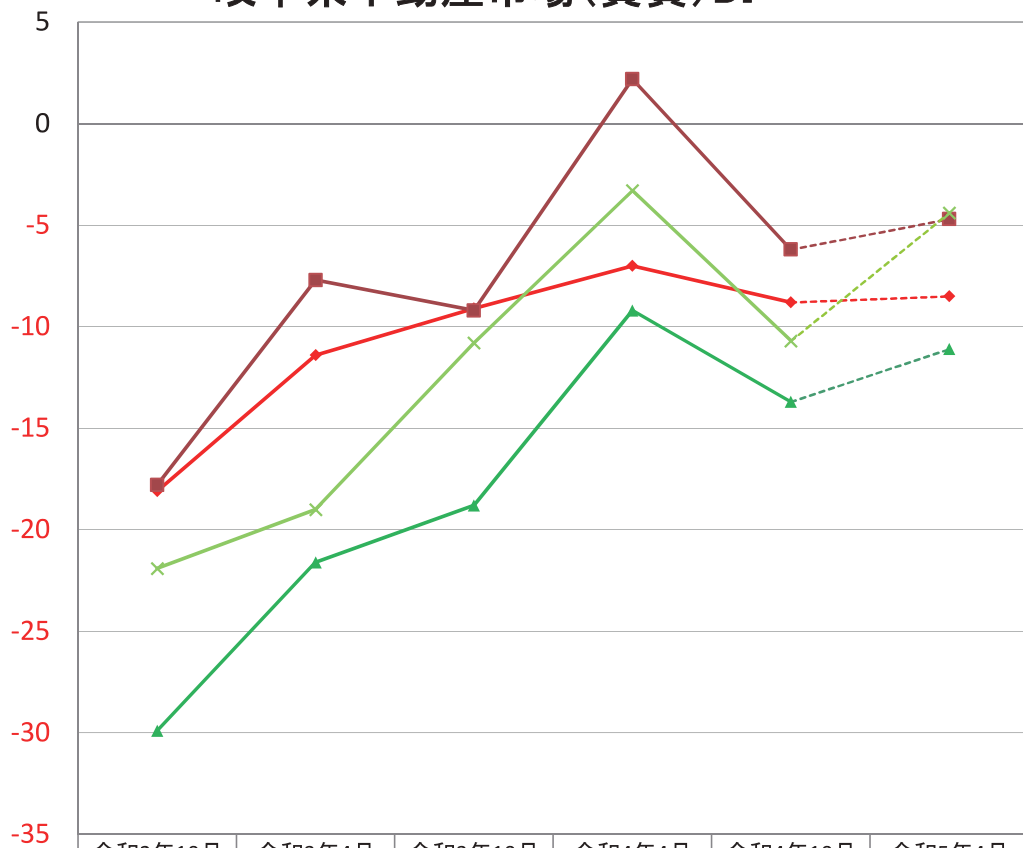
事業用物件の賃料



事業用物件の空室率



岐阜県不動産市場(賃貸)DI

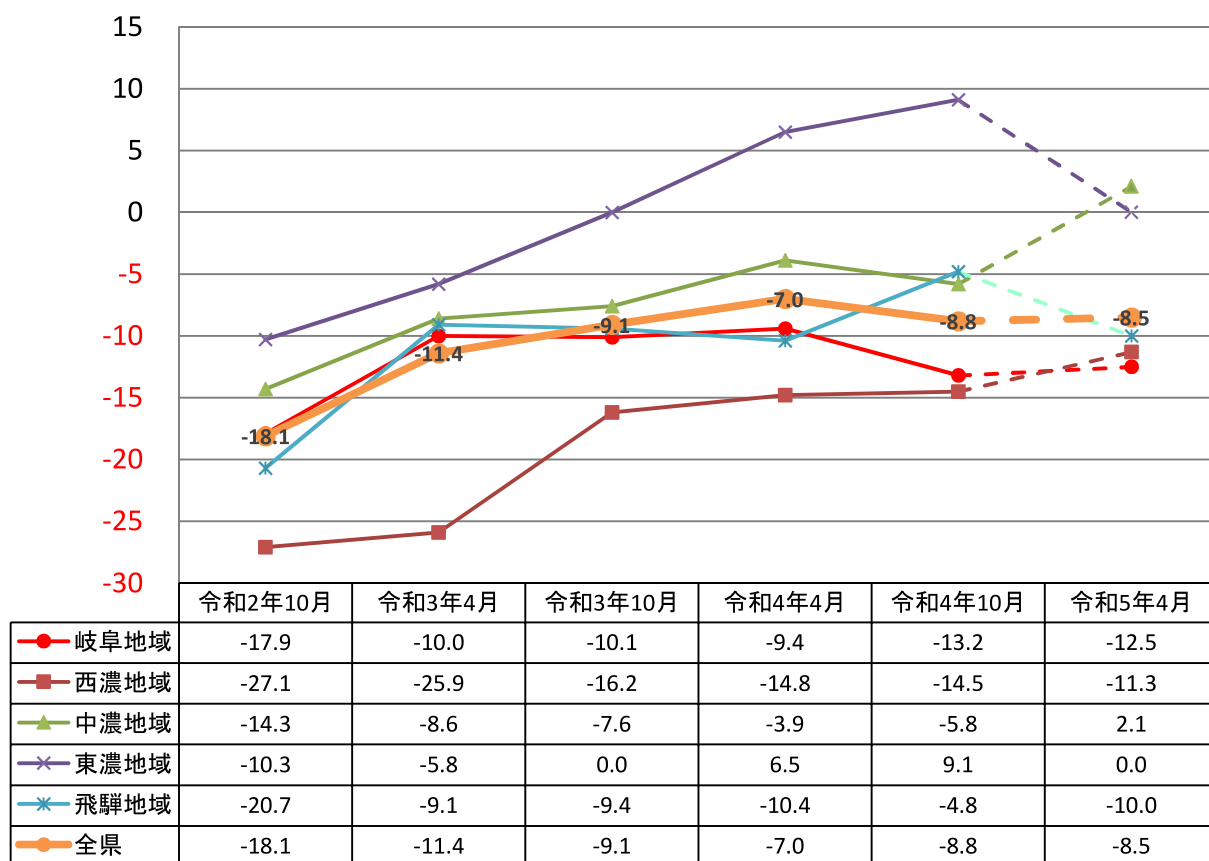


	令和2年10月	令和3年4月	令和3年10月	令和4年4月	令和4年10月	令和5年4月
居住用物件の賃料	-18.1	-11.4	-9.1	-7.0	-8.8	-8.5
居住用物件の空室率	-17.8	-7.7	-9.2	2.2	-6.2	-4.7
事業用物件の賃料	-29.9	-21.6	-18.8	-9.2	-13.7	-11.1
事業用物件の空室率	-21.9	-19.0	-10.8	-3.3	-10.7	-4.4

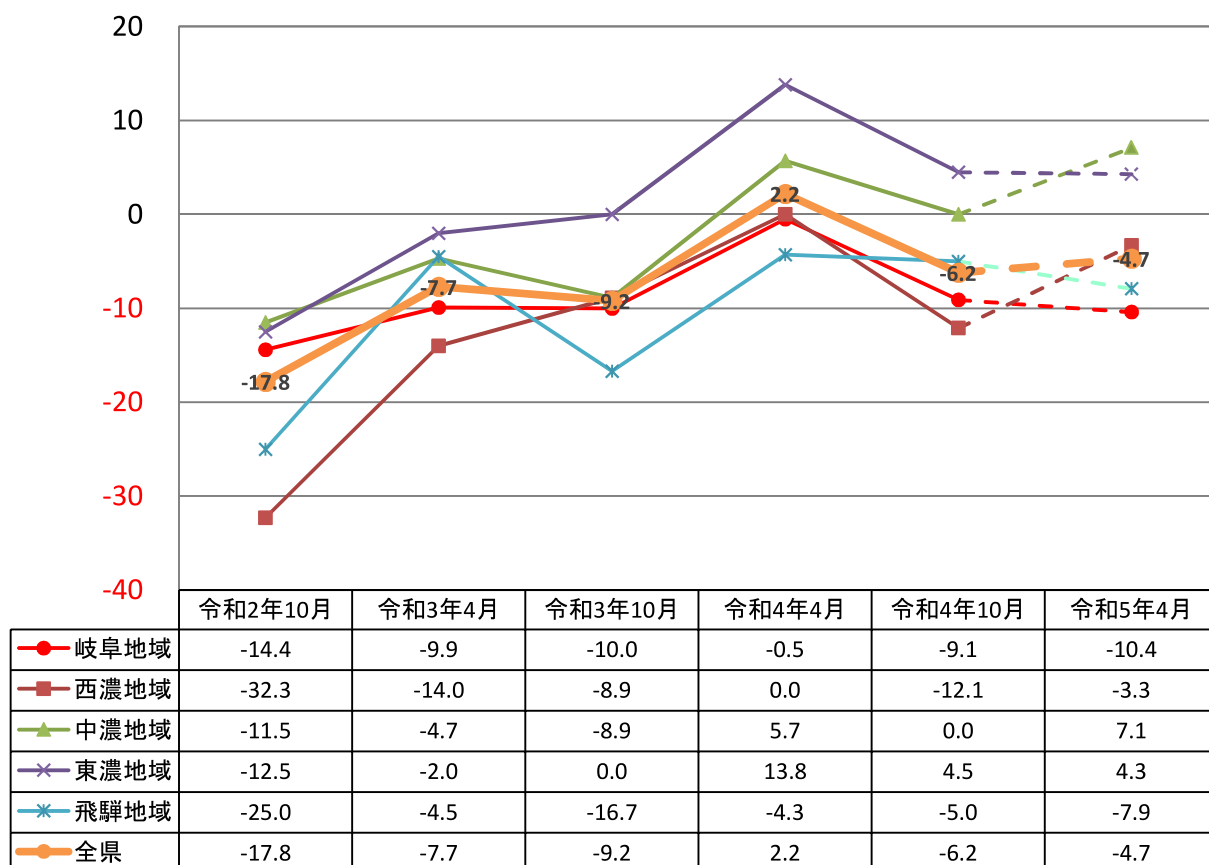
※は時点における予測値を示す（以下、同様）。

②地域毎の集計

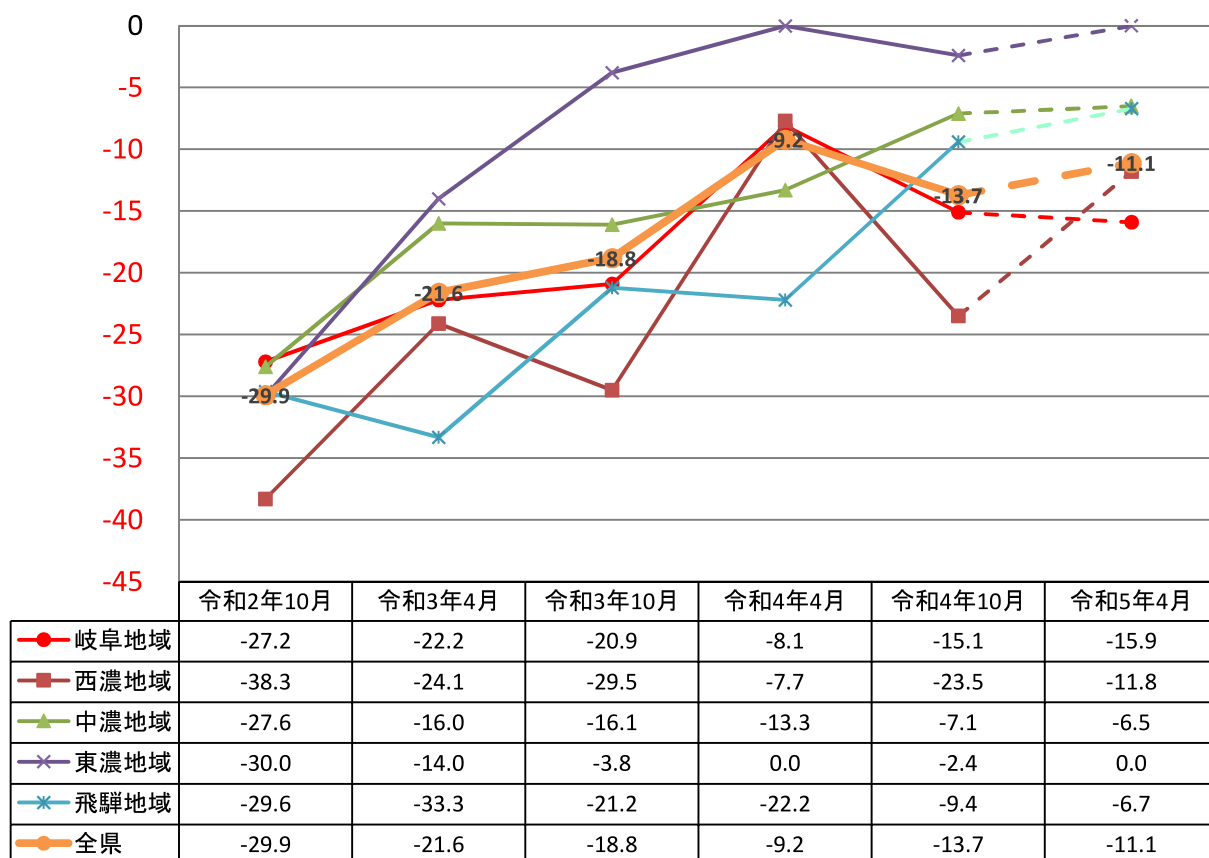
居住用物件の賃料DI



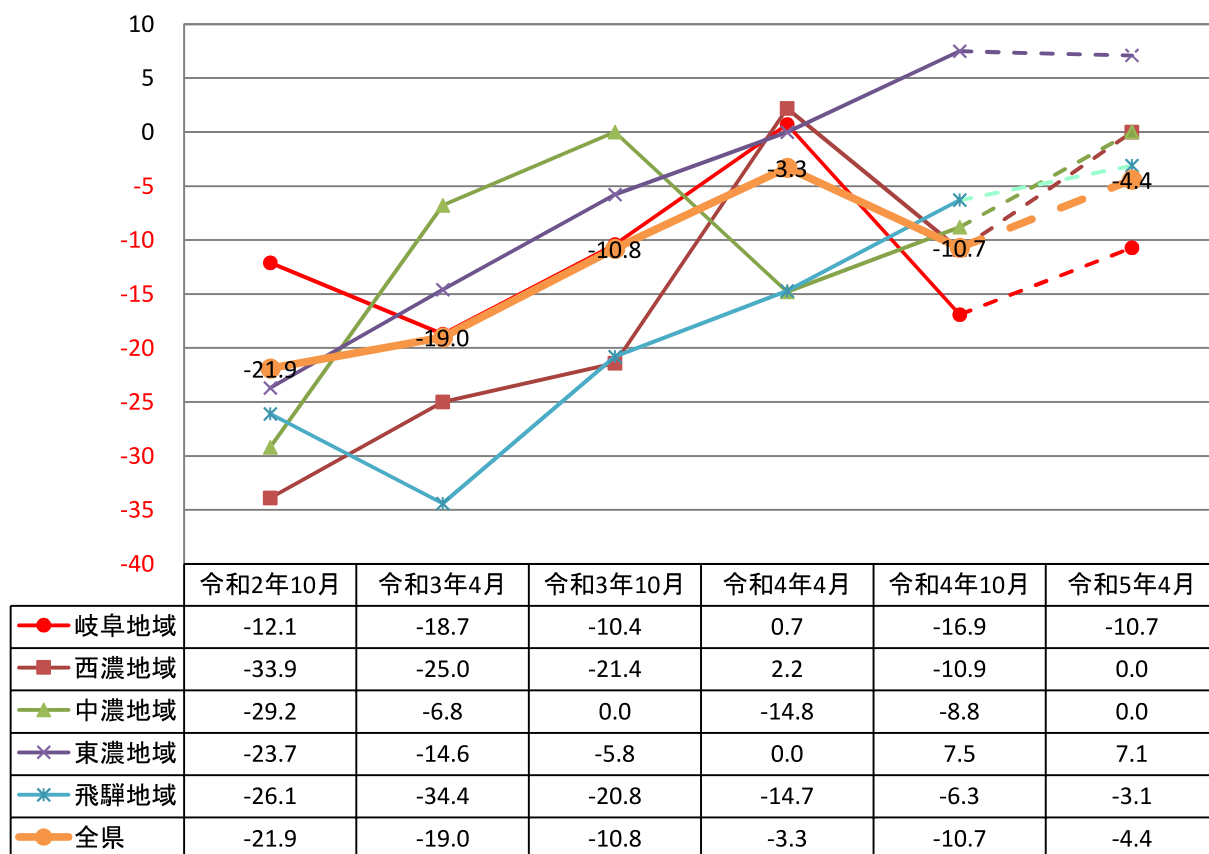
居住用物件の空室率DI



事業用物件の賃料DI



事業用物件の空室率DI



各地域ごとのコメント

岐阜 地域	ウッドショック、資材ショックによる値上げで建物価格と土地価格の組み合わせに影響が出ている。大手メーカーから、ビルダー、工務店にランクダウン。
	個人の破産案件が増加するとの憶測があり、中古物件が増えるという方の意見をよく耳にしますので、やや下落するとの見通しの根拠です。新築のコストがUPしている為、中古を求める流れが来るかと思われましたが、現在様子見の雰囲気です。
	岐阜市内といっても地域格差が見受けられる。岐阜駅前の一部では購入時よりも高値で売却できたマンションもあるが、黒野、栗野、加野といった場所は築年数が60年経っていても、更地にする解体費用が売却金額から捻出できない為、戸建てとして売却されている物件が数多くある。
西濃 地域	人口減少とともに空き家が増え、老舗旅館が廃業となり、コロナが少しずつ落ち着きを取りもどしつつあるものの一部では厳しい状況が続いています。
	市場動向が非常に読みにくいのが現状です。土地売買、建売売買も一時に比べると、下降気味に感じられます。円安傾向が改善されないかぎり、景気回復は難しいのではないかと。一部の物流は活発で倉庫需要も活発で賃貸物件があまり出てこないのが現状。
	相続放棄物件が増加してきた。
中濃 地域	土地物件の問い合わせが少なかったが、土地(更地)の物件について、少し多くなったようである。別荘地の土地については、動向が上向きにはならない。
	建物の材料の値上がりで(全ての物)建築費が高くなり、住宅の注文はしばらく少なくなると思います。
	政府日銀の金利により大きく変わり、ウッドショック等にもより変化あり注視しています。
東濃 地域	イオン土岐店の開店にともない、単身向け賃貸物件需要がかなり増加、今後は落ちつくと思います。
	駅近くの物件は、価格が高くなる傾向があるが、郊外へいくと価格が下がる。
	瑞浪市内の土地価格は横ばいもしくはやや下落傾向です。スポット的に人気のある区域はやや上昇傾向である。 飯田グループホールディングのグループ会社の戸建て分譲が駅周辺並びに商業施設の多い区域でさかんです。まだまだコストパフォーマンスのある物件は人気があると思います。
飛騨 地域	中古マンションの引き合いがかなり多くなっている、飛騨地方のマンションが少ないため。
	新築住宅の価格上昇により、土地購入の問い合わせが減少した。その反面、賃貸戸建住宅や中古住宅購入の問い合わせが増えた。
	新型コロナウイルスの感染者数減少により、多少需要は回復基調。

全県実感DI推移表

時点	土地 価格 全体	土地 価格 住宅地	土地 価格 商業地	土地 取引	新築 戸建 取引	中古 戸建 取引	新築 マンション 取引	中古 マンション 取引	居住用 物件 賃料	居住用 物件 空室率	事業用 物件 賃料	事業用 物件 空室率
平成22年4月	-41.2			-27.0	-37.6	-15.3	-57.1	-36.5	-42.0	-33.9	-53.5	-34.8
平成22年10月	-42.7			-30.9	-28.5	-22.0	-60.5	-40.0	-42.7	-33.5	-61.6	-46.2
平成23年4月	-32.3			-21.0	-21.9	-20.5	-52.3	-40.5	-34.9	-17.1	-47.3	-30.4
平成23年10月	-34.9			-16.3	-10.2	-13.3	-38.9	-31.1	-34.5	-29.2	-49.0	-32.4
平成24年4月	-34.6			-13.5	-31.1	-22.9	-71.1	-48.1	-32.5	-17.0	-38.5	-30.6
平成24年10月	-35.8			-16.8	-23.5	-14.8	-53.8	-32.6	-38.5	-25.9	-51.4	-38.2
平成25年4月	-9.7			10.1	-3.3	-3.1	-17.0	-16.7	-17.6	-6.9	-18.1	-6.6
平成25年10月	-13.3			-1.9	2.7	-3.0	-10.2	-11.6	-20.9	-11.1	-27.2	-21.1
平成26年4月	-14.6			-14.2	-18.0	-15.3	-26.6	-20.9	-19.6	-13.5	-21.5	-13.5
平成26年10月	-20.5			-17.7	-23.2	-16.9	-34.4	-29.6	-20.1	-19.2	22.8	-14.7
平成27年4月	-19.4			-13.5	-19.0	-14.0	-22.1	-19.4	-22.1	-15.1	-22.2	-11.2
平成27年10月	-19.2			-14.4	-22.8	-13.2	-27.9	-21.2	-20.4	-14.2	-20.9	-11.7
平成28年4月	-16.4			-7.3	-11.5	-7.5	-15.8	-12.3	-16.5	-6.2	-19.2	-9.7
平成28年10月	-20.1			-12.2	-11.8	-10.3	-22.4	-17.4	-16.4	-9.3	-20.3	-9.9
平成29年4月	-13.1	-14.1	-12.1	-4.0	-12.8	-8.9	-25.0	-19.8	-21.7	-15.4	-16.8	-10.6
平成29年10月	-13.3	-15.2	-11.2	-5.0	-12.0	-11.8	-22.8	-12.0	-15.5	-14.2	-16.2	-12.6
平成30年4月	-7.5	-11.3	-3.6	-4.6	-8.5	-12.1	-21.7	-18.3	-9.6	-9.2	-15.0	-8.7
平成30年10月	-7.8	-10.6	-4.8	-2.8	-3.3	-5.6	-16.7	-15.0	-11.8	-6.5	-13.3	-7.9
平成31年4月	-8.4	-11.3	-5.3	-3.7	-7.0	-4.8	-23.3	-18.1	-12.7	-6.3	-12.8	-6.7
令和1年10月	-10.3	-14.3	-6.0	-7.4	-9.5	-9.3	-23.6	-21.2	-11.5	-5.9	-13.5	-6.6
令和2年4月	-19.6	-22.0	-17.1	-20.3	-22.3	-22.1	-33.8	-29.0	-15.1	-9.5	-25.3	-19.1
令和2年10月	-25.1	-24.1	-26.0	-14.1	-22.5	-12.8	-29.1	-23.4	-18.1	-17.8	-29.9	-21.9
令和3年4月	-15.5	-14.3	-16.8	-6.8	-3.2	-7.2	-18.0	-16.5	-11.4	-7.7	-21.6	-19.0
令和3年10月	-10.4	-8.5	-12.4	-5.0	0.5	1.9	-12.8	-11.0	-9.1	-9.2	-18.8	-10.8
令和4年4月	-4.4	-3.5	-5.5	-4.9	-7.2	-3.2	-10.9	-8.9	-7.0	2.2	-9.2	-3.3
令和4年10月	-3.5	-4.5	-2.4	-4.9	-10.6	-2.9	-21.1	-12.1	-8.8	-6.2	-13.7	-10.7